



名古屋城 子ども博士になろう



ワークシート「二之丸庭園」編

名古屋城の二之丸庭園は、どのような庭園だったのでしょうか

※江戸時代の二之丸庭園は、二之丸御庭と表記しています。

() 年 () 組 名前 ()

1

二之丸庭園が、国の名勝として指定されている範囲はどのくらいでしょう。

- A. 約3万㎡
- B. 約5万㎡
- C. 約10万㎡

こた
答え

A



二之丸庭園図

名勝指定範囲(1953年) 名勝指定範囲(2018年)

2

二之丸御殿や二之丸御庭について、()の中にあてはまる言葉を入れて、文章を完成させましょう。

初代(**義直**)は、1620年に本丸御殿から二之丸御殿に移り住みました。そして、1628年までに二之丸御庭がつくられました。二之丸御庭は、(**大陸(中国)**)の影響を受けた建物が各所に建てられました。

その後、10代(**斉朝**)により、二之丸御庭は大きく改造され、規模も初代のころと比べて2倍半くらいに拡大されました。この時期には、「御山」(権現山)などいくつもの山が築かれたり、各所に「山下御席」、「霜傑」、「余芳」、「風信」などの(**御茶亭**)が設けられたりしました。

3

二之丸庭園の発掘調査で確認されたものや、復元と整備をされたものを書きましょう。

・暗渠(地下排水路)遺構や南池、御茶亭「霜傑」の遺構

・御茶亭「多春園」の赤く着色された三和土や園路の飛石・北池の池

底には、藤棚の柱や橋脚の礎石、護岸には水生植物が植えられていた

と思われる植樹 ・権現山の石段 ・御茶亭「余芳」の移築再建作業